

6月第3週～第4週の「人権啓発映画上映会」スケジュールと作品紹介

6月は「ハンセン病回復者等の
人権」がテーマです！

上映日	上映作品名	整理番号 上映時間	関連する 人権課題等
16日 (月)	ハンセン病を正しく理解するために①人間回復の橋、心のかけ橋となれ	H8 29分	ハンセン病回復者等の人権
17日 (火)	ハンセン病問題を知る～元患者と家族の思い～	H20 35分	ハンセン病回復者等の人権
18日 (水)	リクエスト受付中		
19日 (木)	あつい壁に虹のかけ橋を	H19 40分	ハンセン病回復者等の人権
20日 (金)			
23日 (月)	風と大地と梨の木と 第1章 故郷はひとつ	A50 45分	人権全般
24日 (火)			
25日 (水)	リクエスト受付中		
26日 (木)	「菊池野」こころの叫び～それぞれの恵楓園物語	H6 58分	ハンセン病回復者等の人権
27日 (金)			
30日 (月)			

内 容
○作品名 ハンセン病を正しく理解するために①人間回復の橋、心のかけ橋となれ
岡山県にある国立療養所・呂久光明園と長島愛生園の語り部計12名の証言集（計157分）と、ハンセン病啓発作品「人間回復の橋、心のかけ橋となれ」（アニメ入り／29分）を収めた作品。※今回は啓発作品（29分）を上映します。
○作品名 あつい壁に虹のかけ橋を
合志市制施行15周年を記念しハンセン病問題をテーマに、映画監督の中山節夫さん(合志市出身)と俳優の竹下景子さんが対談する啓発DVD。ハンセン病に対する差別心という心の中のあつい壁を市民が一体となって乗り越えるため、美しい虹のかけ橋をかけて、差別をなくしていこうとの思いが込められている。
○作品名 ハンセン病問題を知る～元患者と家族の思い～
隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録しています。ハンセン病についての正しい知識や歴史、そして近年の動向など、ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えるためのDVDです。
○作品名 「菊池野」こころの叫び～それぞれの恵楓園物語
菊池恵楓園入所者自治会機関誌「菊池野」に掲載された随想や詩から選んだものを俳優の滝田栄さんが朗読し、同園の歴史を映像等で紹介する。人が生きていくこと、命の重さが綴られた入所者のみなさんの心の声。
○作品名 風と大地と梨の木と 第1章 故郷はひとつ
古い価値観にしばられ、同和地区の出身者との付き合い拒む主人公の母。心無い言葉が人々の心を傷つける。人は何故世間体にとらわれるのか……。主人公の家族がさまざまな問題にぶつかりながら、互いの人権を尊重し合うことの大切さを学んでいく姿を描く。